

田端文士村記念館 開館25周年記念展 第1弾

明治の田端は芸術家村だった!?



あら
何でしょ。
行って
みましょうよ。

田端に
何か
あるらしい
わよ。

田端に集まる理由がある

山本松谷「田端の春色」

2018年2/10(土)～5/6(日)

会場: 田端文士村記念館 (JR山手線・京浜東北線「田端駅」より徒歩2分)

開館時間: 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 月曜日(祝日の時は火・水曜)、祝日の翌日(土日の時は翌火曜)

【主催】(公財)北区文化振興財団 田端文士村記念館 【共催】東京都北区

【協力】茨城県天心記念五浦美術館、北区飛鳥山博物館、北区立中央図書館、渋谷史料館、府中市美術館

入場
無料

田端文士村記念館開館25周年記念展 第1弾

田端に集まる理由がある

～明治の田端は芸術家村だった!～

入場
無料

開館25周年記念展第1弾は、「明治期の田端」がテーマです。

本展覧会では田端に集った芸術家たちが独自の文化を形成し、田端が芸術家村となった理由を様々な資料で紹介します。

1
その理由
とは?

明治中頃、閑静な農村地帯であった田端にジャンルを問わず芸術家たちが転入した理由とは?



画・小杉放庵、作陶・板谷波山「大雅堂瀧瀬八景扇画小皿」

2
その理由
とは?

明治期の田端に芸術家たちの社交場「ボブラ倶楽部」ができた理由とは?



写真「ボブラ倶楽部でのクリスマス会」

3
その理由
とは?

明治40年(1907)創刊の美術文芸雑誌『方寸』。田端の芸術家たちが中心となって出版された理由とは?



美術文芸雑誌「方寸」

ミニ特集・田端の彫刻家

明治期に田端へ転入した彫刻家・池田勇八と吉田三郎の作品を紹介します。



吉田三郎「板谷波山先生之像」



池田勇八「珠」

関連講演会(無料)会場:田端文士村記念館多目的ホール

「明治の美術 ～東京美術学校を中心に～」

講師:古田 亮氏 (東京藝術大学大学美術館准教授)

3/25(日)14:00開演(13:30開場)

申込方法:往復はがきで3/12(月)まで。
1週につき1名(同席家族に限り2名まで可)。

往信用裏面:①イベント名②住所
③氏名(2名の場合は全員分)
④電話番号⑤年齢

返信用表面:応募者の住所・氏名



▲古田 亮氏

〒114-0014東京都北区田端6-1-2
☎03-5685-5171

(JR京浜東北線・山手線「田端駅」
北口から徒歩2分)

※駐車・駐輪場は隣接の有料施設を
ご利用ください。

URL:<http://www.kitabunka.or.jp/tabata/>

@bunshimura

(公財)北区文化振興財団

田端文士村記念館

TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



▼板谷波山「ボブラ文様原案」